

(様式1)

校種	小・ Ⓢ	学校番号	1	学校名	宇都宮市立一条中学校
----	-------------	------	---	-----	------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな心と健やかな体を持ち、自ら考え行動するなど、意欲を持って主体的・創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

(2) 具体目標（目指す生徒像）

- ・自ら学び自ら考える生徒（知）
- ・認め合い協力する生徒（徳）
- ・明るくたくましい生徒（体）

2 学校経営の理念

テーマ 「あたたかい学校、活力のある学校、地域と共に歩む学校」

生徒一人一人を目指す生徒像に近づけるためには、地域学校園の小中学校、家庭、地域が連携しながら、それぞれの力を発揮していくことが重要である。本校がその核としての役割を自覚し、関わる人々が誇りに思う学校となれるよう、目指す学校像（3つの柱）を掲げる。

- ・明るい挨拶にあふれ、互いに認め、励まし、称え合える、「あたたかい学校」
- ・地域社会や将来を見据え、子供や教職員のよさが十分に活かされる、「活力のある学校」
- ・生徒や保護者、教職員が誇りに思い、地域に愛され信頼される、「地域と共に歩む学校」

3 学校経営の方針

【一条地域学校園教育ビジョン】

「基本をしっかり身に付け、地域に生きる子どもを育む一条地域学校園」

(1) あたたかい学校

- ・心の教育、望ましい人間関係づくりを図る
- ・特別支援教育の視点を十分に生かす
- ・花と緑を大切に潤いある環境を整備する
- ・教職員の団結と健康管理に努める

(2) 活力のある学校

- ・主体的に学習に取り組む態度を育成する
- ・体力・気力の向上と健康教育を推進する
- ・学びやすい、生活しやすい環境を整備する
- ・職員が働き甲斐のある職場づくりに努める

(3) 地域と共に歩む学校

- ・地域をフィールドにした学習活動を進める
- ・地域に根差したSDGsを推進する
- ・地域の人材、資源を活用した教育を推進する
- ・学校運営協議会等との連携強化に努める

4 教育課程編成の方針

Society5.0の到来を見据え、ユネスコスクールとしての自覚とSDGs（防災・平和・福祉等）の推進により、奉仕の精神と協力する態度、主体的に行動する力を育成できるよう、教育課程と指導体制を工夫する。

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学習指導要領の関係法令、および県教育行政基本方針、市教育委員会管理運営規則、市学校教育スタンダードの示すところに従って編成する。

- (2) 地域や学校の実態を踏まえ、生徒の心身の発達段階や特性を十分考慮しながら、人間として調和のとれた育成を目指して特色のある教育課程を編成する。
- (3) 市の小中一貫教育、GIGA スクール、宇都宮学等の趣旨を生かした教育活動全般にわたるカリキュラムマネジメントを行い、適切な指導が図れるよう配慮して編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営 ～学校と地域が連携した生徒のための学習、体験活動の推進～

- ・防災・平和・福祉を主なテーマに、国際社会、地域社会に目を向けたSDGsを推進する。
- ・保護者・地域の学校運営への参画や支援・協力の促進により信頼関係を深め、学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組む。

○休日の部活動指導の地域移行と新たなスポーツ・文化活動の推進策について推進する。

- ・教職員が一丸となって学業指導にあたるとともに、業務の効率化と働き方改革を進める。

(2) 学習指導 ～自ら取り組み、「わかった」「できた」を実感できる授業づくりの推進～

- ・生徒が主体的に学習に取り組むために学習評価を工夫・改善する。

○9か年のカリキュラムマネジメントとその評価の展開により、学力の向上を図る。

○習熟度学習・TT、ICT機器を生かし、主体的、対話的で深い学びのための授業改善を図る。

- ・読書活動、新聞活用（NIE）等を充実し、広い視野と思考力・判断力・表現力を育成する。

(3) 児童生徒指導 ～ともに成長できる集団づくりと自己指導能力の育成～

- ・自ら考え、判断し、責任を持って実行できる自己指導能力の育成・向上を図る。

○特別支援教育の視点を活かし、自己肯定感、自己有用感をはぐくむ教育相談に努める。

- ・共に課題に立ち向かい、互いに認め、励まし、称え合うことで、自他共に成長できる集団づくりを推進する。

- ・困難を克服し失敗から立ち上がる力（レジリエンス）の育成に努める。

(4) 健康（体力・保健・食・安全）～強い体、折れない心、健康的な生活の育成～

○基礎体力の向上と持久力を養うための活動を工夫改善する。

- ・カリキュラムマネジメントにより、健康、食育、安全に関する指導の充実を図る。

- ・感染症対策や防災教育を通して、危機に対応できる能力の育成を図る。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

現代社会の課題を自らの問題と捉え、持続可能な社会実現のため、身近なところから主体的に取り組む解決しようとする態度と行動力。（ユネスコスクールの自覚、SDGsの推進）

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇防災・平和・福祉教育や新聞活用（NIE）、食農体験等を通したSDGsの推進

- ・地域未来会議や地域活動等を通した、自らの意見を地域に反映させようとする意欲の醸成

◇JRC等による地域ボランティア活動の展開

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「学校運営協議会（CS）」との連携・協働を含む）

①基本的考え

- ・地域の教育力を生かし、地域と連携・協働した教育活動を推進することで、生徒の社会参画意欲や豊かな心の醸成に努める。

②主な取り組み

- ・地域未来会議，地域活動への参加
- ・学校と地域が連携したスポーツ・文化活動の推進（部活動の地域連携・移行推進）

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え方

- ・地域学校園教育ビジョンの具現化を図るため，発達段階に応じた一貫性のある指導を継続的に実践する。

②主な取り組み

- ・児童・生徒が連携を実感できる取組の実施
- ・教職員，生徒間の分かりやすい情報共有

(3) 不登校対策

①基本的考え方

- ・生徒情報を全職員が共有し，初期対応の充実を図るとともに，一人一人の状況に応じた適切な対応に努める。
- ・困難を克服し不安から立ち上がる力（レジリエンス）を育成するため，ソーシャルスキルの習得のさせ方を研究する。

②主な取り組み

- ・教育相談部会の充実
- ・別室指導及び学習指導の充実
- ・関係機関との連携強化

(4) GIGAスクール構想

①基本的考え方

- ・生徒がICTやデジタル社会の課題を自ら考え，解決していく態度を育成するデジタルシチズンシップ教育を推進する。

②主な取り組み

- ・機器の運用・管理体制の整備
- ・リテラシー教育の充実
- ・職員研修の充実

(5) 宇都宮学

①基本的考え方

- ・郷土愛を育み，社会に主体的に参画する意欲と態度を育成するため，宇都宮学を効果的に推進する。

②主な取り組み

- ・総合的な学習の時間を核とするカリキュラムマネジメントの改善
- ・地域連携プロジェクト，NIE，宮っ子の誓い大使活動等との連携，相乗効果